

情報通信審議会 情報通信技術分科会 放送システム委員会  
衛星放送用受信設備作業班 光配信アドホックグループ（第1回）  
議事概要（案）

1 日 時 平成29年4月19日（水） 10時00分～11時15分

2 場 所 （一社）放送サービス高度化推進協会（A-PAB）会議室

3 出席者

【構成員】（敬称略）

武田（マスプロ電工、リーダー）、奈良木（電子情報技術産業協会）、  
沼尻（電子情報技術産業協会）、田中（日本放送協会）、  
林（日本CATV技術協会）、和食（日本ケーブルテレビ連盟）、  
宇佐美（放送サービス高度化推進協会）、松下（DXアンテナ）

【オブザーバ】長坂（日本放送協会）

【事務局】小川、糸（情報流通行政局放送技術課）

4 議題

（1）検討の進め方（案）について 【資料光AH1-1 検討の進め方（事務局案）】

【内容】

本件は、「衛星放送用受信設備作業班」に関する検討に必要とする情報を収集し、技術的条件についての調査を促進させるために、同作業班の設置要綱1.（8）に基づき作業班に光配信アドホックグループを設置する旨、事務局から説明があったもの。

（2）構成員からのプレゼンテーション

①資料光AH1-2「ケーブルテレビ関連資料 ～伝送路光化の現状を中心に～」

【内容】

本件は、ケーブルテレビ網の現状と、ケーブルテレビにおける衛星放送の再放送方式について、構成員から説明があったもの。

②資料光AH1-3「ARIB STD-B63の光配信方式について」

【内容】

本件は、ARIB標準規格STD-B63「高度広帯域衛星デジタル放送受信設備（望ましい仕様）」において規格されている4K・8K衛星放送の宅内配信方式について、構成員から説明があったもの。

③資料光AH1-4「光配信の現状と課題及び取り組みについて」

【内容】

本件は、光配信の長所・短所について、構成員から説明があったもの。

④資料光AH1-5「ホーム光配信への取組について」

【内容】

本件は、光配信方式をホーム受信システムへ普及を目指すのであれば、簡易・簡便な取り扱いや敷設が出来る光機器の開発が重要である旨、構成員から説明があったもの。

⑤資料光AH1-6「棟内テレビ受信システム『光化』のご提案」

【内容】

本件は、高層階の棟内テレビ受信システムの幹線を光化するメリットや、市販されている構内光システム製品について、構成員から説明があったもの。

⑥資料光AH1-7「光配信への取り組み」

【内容】

本件は、棟内伝送設備を同軸と光ケーブルによる広帯域ハイブリット伝送システムで構築した場合と、FTTH伝送システムで構築した場合のメリット・デメリットについて、構成員から説明があったもの。

担当： 総務省情報流通行政局放送技術課 系課長補佐、幸坂係長

電話： 03-5253-5785

FAX： 03-5253-5788

E-mail： shv-tech\_atmark\_ml.soumu.go.jp

（「\_atmark\_」を「@」に直して入力してください。）